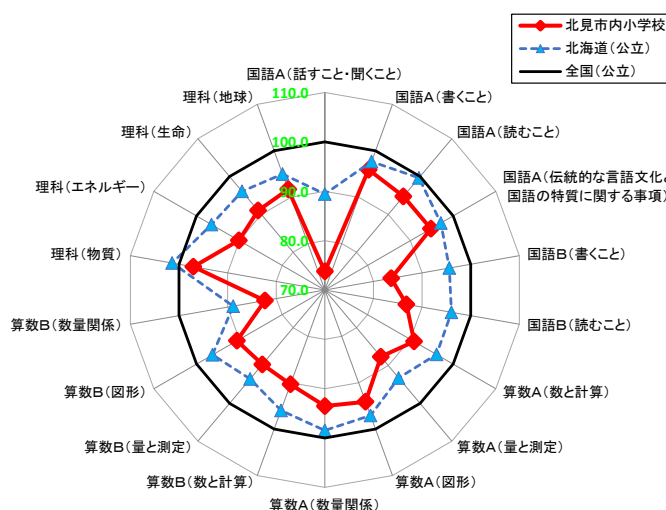


■北見市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:26、児童数:924名)

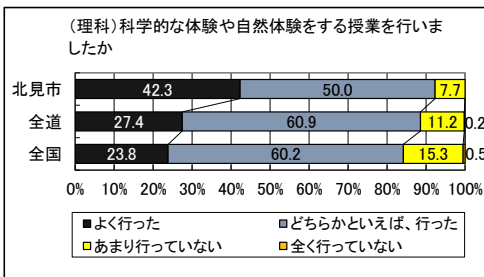
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

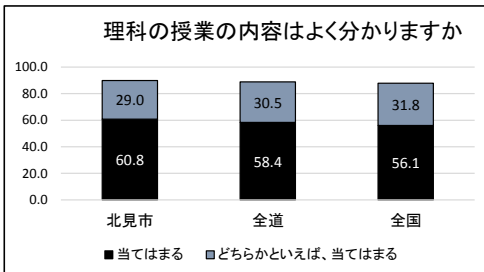
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



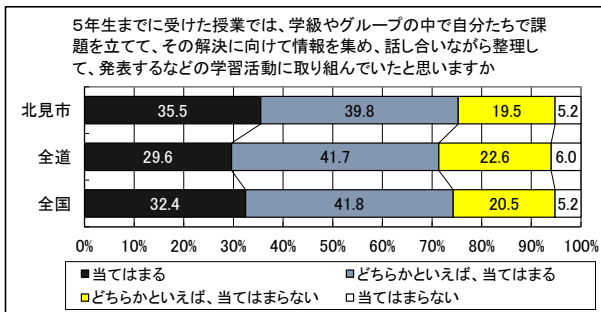
【学校質問紙調査】



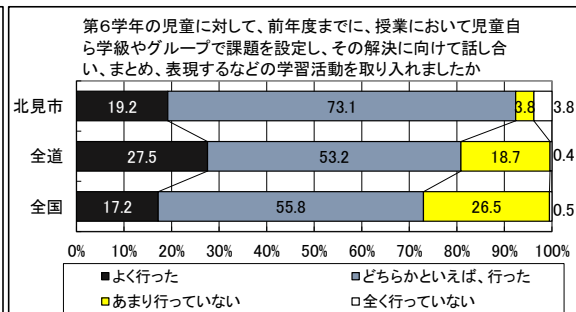
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aの「読むこと」、算数Aの「図形」などの平均正答率が他の領域と比較すると高い傾向にある。 ○ 理科の「物質」の平均正答率が他の領域と比較すると高く、全国とほぼ同様になっている。	○ 各学校が、理科の授業において、科学的な体験や自然体験をする授業を行ったことにより、児童は理科への関心・意欲を高め、授業の内容を理解することができるようになったと考えられる。
児童質問紙	○ 「5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」という質問に肯定的に回答した生徒の割合が全道、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業の内容はよく分かりますか」という質問に肯定的に回答した生徒の割合が全道、全国を上回っている。	○ 各学校が、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことにより、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるようになったと考えられる。
学校質問紙	○ 「第6学年の児童に対して、前年度までに、授業において児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」という質問に肯定的に回答した学校の割合が全国を上回っている。	

【北見市の学力向上策】

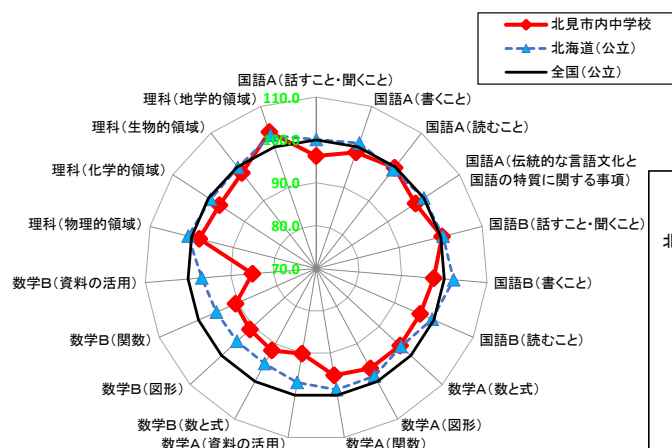
- ◎ 学習規律など授業の基盤となる指導事項の徹底
- ◎ ICTの活用など授業方法の工夫・改善と充実
- ◎ 家庭における学習習慣の確立と充実
- ◎ 読書活動の推進
- ◎ 家庭での携帯電話やスマートフォン、インターネット利用のルール作りなど生活習慣の改善

■北見市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:15、生徒数:972名)

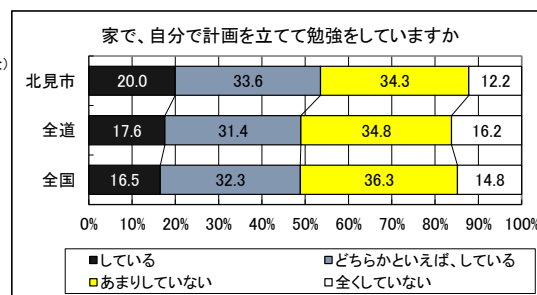
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

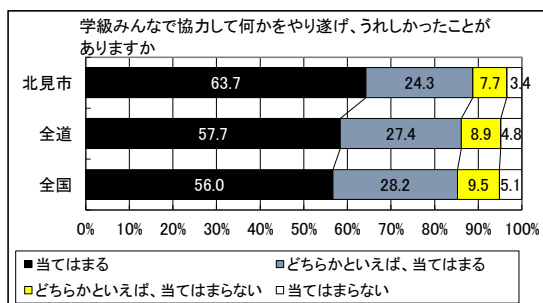
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



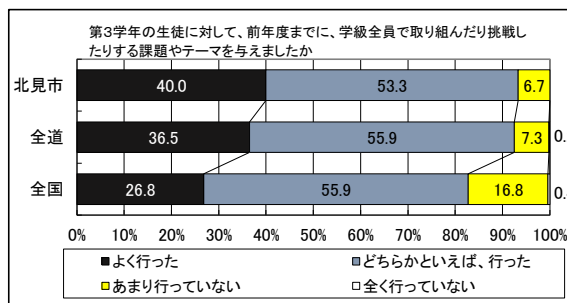
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Bでは「話すこと・聞くこと」領域で全国を上回っている。 ○ 理科では「地学的領域」で全国を上回っている。	○ 各学校が、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたことによって、生徒は、学級みんなで協力して何かをやり遂げることに達成感を感じていると考えられる。 ○ 何かをやり遂げる達成感を高めていることにより、学習面での最後まで取り組む意欲や態度が育まれ、学力向上につながっていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」の質問に、肯定的な回答をした生徒の割合が全道、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「第3学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか」の質問に、肯定的な回答をした生徒の割合が全道、全国を上回っている。	

【北見市の学力向上策】

- ◎ 学習規律など授業の基盤となる指導事項の徹底
- ◎ ICTの活用など授業方法の工夫・改善と充実
- ◎ 家庭における学習習慣の確立と充実
- ◎ 読書活動の推進
- ◎ 家庭での携帯電話やスマートフォン、インターネット利用のルール作りなど生活習慣の改善